

ご挨拶



同窓会長

白井 和
(昭和34年度)

松 濤

第43号

2019年8月吉日

発行

千葉県立一宮商業高等学校
同 窓 会千葉県長生郡一宮町一宮3287
千葉県立一宮商業高等学校内
TEL 0475 (42) 4520(代)
FAX 0475 (42) 7418
http://ichisho-dosokai.com/

母校は令和七年には創立百周年を迎える事になります。一、三年後に学校当局の意向を伺い乍ら同窓会員皆様のご意見を拝聴して取り組んで参りたいと考えております。

皆様もご承知の通り外房地域は県内の中では少子化が一段と進んでおります。茂原市から鴨川市に至る四市六町一村では今後十年間では十五才未満が六千人減少し一万人を切る予想されております。この様な環境下ではありますが母校は渡部校長のご努力により、定員割れはないとの事です。加えて母校は昨年度、文部科学省から全国八校の中に選ばれた研究指定校となつて現在積極的な活動が行われております。

外房エリアには商業教育を実践する教育機関は母校以外には存在しません。今、文科省に於いては時代の変化に合わせた教育改革に向けた取り組みに着手されると伺っております。

創業時の建学の精神「自治、責任、創造」を礎に諸先生方のご指導の下、文武両道に優れた社会に役立つ生徒を輩出される事を念願致しております。

同窓会としては在校生との絆を深める事に前向きに取り組んで参ります。母校の繁栄があつてこそ本会が存続するのであります。

母校の限らない発展と同窓会員並びに四支部（茂原、長生、いすみ、首都圏）会員皆様の御健勝を祈念しご挨拶と致します。

未来へ向かって



校 長

わたなべ
渡部 清

同窓会の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に御支援と御理解をいただき、心から御礼申し上げます。

現在、情報や技術は加速度的に進化し、情報化やグローバル化など社会環境は私たちの想像以上に急速に変化しております。最近、Society 5.0という言葉をよく目にします。これは、内閣府が我が国の目指すべき未来社会の姿として提唱されたもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のことで、わかりやすく言い換えると、情報が溢れている現在の課題に対してIoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）などの最新テクノロジーを活用した便利な社会が「Society 5.0」というわけです。現在、必要な情報を見つけて分析・共有することが困難な状況です。さらに少子高齢化や地方の過疎化などで人的負担も大きくなっています。その負担を軽減する方法として日本政府は、IoTやAI、クラウド、ドローン、自動走行車・無人ロボットなどの活用を推進。これら最新テクノロジーの活用により、最終的には少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題を解決し、一人ひとりが快適に暮らせる社会を実現することが「Society 5.0」の真の目的となります。

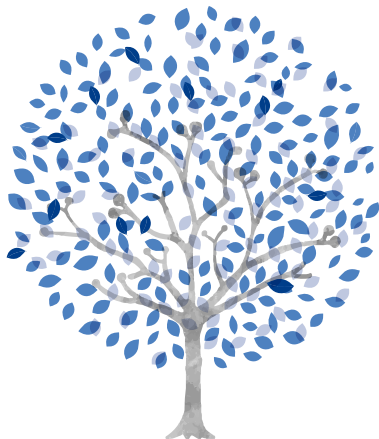
本校では、この4月より校内の

Free-WiFiを利用し、iPadを使って個別学習やグループ学習を行っています。初めてのことで指導は十分ではありませんが、研修を重ね、学力向上に繋がってきたいと考えています。

昨年度、運動部では、主な結果として、男子卓球部がベスト8、野球部が夏の大会ベスト16、女子バスケットボール部がベスト16でした。文化部では、電算部が全商協会主催プログラミングコンテストでは2年連続最優秀賞（全国優勝）を受賞しました。また、全国高等学校IT選手権では第6位、アプリ甲子園では第3位という素晴らしい結果でした。ビジネス研究部は県高等学校生徒商業研究発表大会において、13年連続最優秀賞に輝き、関東大会に出場しました。今年度も昨年度に負けないよう頑張らせます。

今後とも、同窓会の皆様方の期待に沿うよう、職員一丸となって、さらに邁進する所存ですので、今後とも御支援・御協力をお願い申し上げます。

※狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）



御礼のご挨拶



前同窓会長

古市義策

庭の紫陽花が雨に洗われて鮮やかに花開いている。令和が始まった五月の新緑から既に初夏の香り漂う頃となり一年で最も素晴らしい季節となりました。

同窓生の皆さんには相変わらずお元気でお過ごしのことと存じます。

さて、平成二十二年六月に会長職を仰せつかり、爾来九年間にわたり皆様のお陰様で今日まで務めて参りました。これまで本部や支部の役員の皆様には多大なご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成から令和の時代に入った六月十五日の総会におきまして、茂原支部長白井和様が新会長に選出されました。

白井様は長年にわたり、房総信用組合の理事長として御活躍され、茂原市をはじめとする地元の名士であり、幅広い人脈、温かな性格とともに碩学であります。長年茂原支部長として同窓会の発展に尽くされました。このような方に会長職をお引き受けただいたことは、同窓会員としてこの上なく有難いことと思っております。

母校は平成二十七年に創立九十周年の諸行事を行いました。令和七年には記念すべき創立百周年を迎えます。今後同窓会としても百周年に向けて記念事業の計画、資金の調達など重要な課題が山積します。今後、白井会長を中心に会員が一丸となって同窓会の発展に寄与できればと思います。

さて、せっかくの機会をいただきましたので、この間の同窓会活動を振り返ってみたいと思います。本部の活動を増やしては、毎年開催される総会の参加者を増やすために総会に先立ち様々な催しを行いました。平成二十三年度は、渡辺ヒロ子先生のアコーディオン演奏、次年度には、元巨人の投手中村稔様に御高話をお願いし、野球部の生徒と共に拝聴、時には桂文雀師匠の落語鑑賞もありました。また、母校が九十周年の時には、読売新聞の人生相談をされている樋口恵子様にご講演をいただいたこともありました。

しかしながら、肝心の総会の出席者を増やすことはできませんでした。

支部活動については、渡辺元会長が千葉支部、夷隅支部の新設をされ、その後東京支部と千葉支部が合併し、首都圏支部として新たに活動が始まり、一宮支部はエリアを広げ長生支部として活動しております。

このような同窓会活動を、多くの皆様にお知らせすることが大切なことと考え、平成二十三年にIT委員会を設け、二十四年からホームページを開設し広報に努めました。

平成二十五年からは、会員の親睦のためゴルフコンペを総会の前日に開催し、できるだけ多くの会員の親睦を試みしました。今年度も第七回大会が予定通り行われました。

同窓会の財政は会員の皆様の会費で賄っておりますが、収入金額が少なく支出の多くは機関誌「松濤」の発行に使われ、赤字となっております。そこで、出版業者と契約し二十七年から三年間、会費と賛助金で印刷から送付まで全て行うということとしましたが、業者からはこの契約では更新できないとのことでした。そこで三十三年度は、「松濤」の送付は会費納入者を中心に、未納会員には五年に一回送ることとしました。そのため、会計

的には大変改善されました。尚、松濤の内容はホームページで閲覧できますので、ぜひご覧ください。

同窓会は、言うまでもなく母校あつてのもので。何年も前からこの地域は、中学生が減少し、茂原以南の高校は学級数の削減や統廃合が進んでおります。そんななか、母校は一度も定員割れがなかったことは、母校が地域の皆様から信頼され、支持されていることの表れであります。このことは、校長先生はじめ先生方のご努力の賜であり、改めて心から感謝申し上げます。

私の夢は母校の甲子園出場であります。平成十八年四月二十九日神田で最首席夫君、鈴木昭一君と三人で飲みながら甲子園出場の夢を語り合い、野球部後援会設立を決めました。その年の十一月十九日設立総会を開き既に十年以上が経ちました。この間グラウンドの砂入れ、照明の導入などの支援をしてきましたが、今後も鈴木会長を中心に活動を続けていきたいと思っております。

最後に、九年間にわたり無事務められたのは、今は亡き大場寿一君をはじめ昭和三十八年三月卒業の同級生の皆さんの惜しみない支援があったことを記し、感謝申し上げます。有難うございました。



支部報告

■「地域活動の一員として」

茂原支部 監事 田中 允 (昭和41年度卒)

母校を卒業してから、今年で53年が経過しました。職場を定年退職後の現在は、地元(地域)でいくつかの活動に携わっております。その中の主なものとして、①自治会活動と、②民生委員活動について、ご紹介させていただきます。

まずは、①東郷地区自治会長連合会「以下、当地区連」(準役員職)活動についてです。

当地区連は茂原市自治会長連合会の下部組織として、35名の自治会長をもつて組織され、会員の相互扶助によって、地域社会の「安全と安心」の確保及び地域コミュニティの拡充等を図るなど、地域における先導的な役割を担うことを主たる目的として活動しています。中でも、当地区連の最大の年中行事である「サマーカーニバル(東郷地区夏まつり)」が、今年で18回目を迎え、7月14日(日)開催されます。今年も例年通り、1,000名を超える参加者が見込まれています(写真は昨年のサマーカーニバルの様子)。

また、平成28年4月施行の「茂原市まちづくり条例」に基づき、市内で3番目の「東郷地区まちづくり協議会(理事職・会計担当)」が本年4月



令和元年度(第22回) 茂原支部総会

【日 時】 令和元年10月25日(金)
午後6時30分より

【場 所】 大和屋旅館
電話：(0475)24-1185

【会 費】 女性：3,000円
男性：6,000円

【最寄駅】 JR外房線茂原駅
(会場までは、徒歩で10分程度)

【問い合わせ先】
幹事長：岡部昌夫
☎090-8963-1946

に発足しました。当協議会は、地域の身近な課題や問題について話し合い、地域の活性化と福祉の向上に寄与し、明るい住み良い調和のある東郷地域町づくりを推進することを目的としています。

当地区内には、約1万6千人。7千世帯の住民が暮らしています。当地区連を始め、当地区内の企業・事業所・商店などの代表者及び個人で構成されています。当面は、「サマーカーニバル(東郷地区夏まつり)」が主な行事となりますが、今後は更に活動の幅を広げていくことになっていきます。

次に、②東郷地区民生委員・児童委員協議会(以下、当協議会)(副会長職)活動についてです。当協議会は茂原市民生委員・児童委員協議会の下部組織として組織されています。なお委員は、「民生委員法」により厚生労働大臣より委嘱されています。任期は3年で東郷地区では23名の委員が活動しています。委員は、住民の方からの様々な相談内容に応じて、必要な支援を受けることができる専門機関などに要望を伝え、課題が解決できるよう「橋渡し役」としての役割を担っています。そして、毎月第3金曜日に、東郷福祉センターにおいて、「定例会」を開催し、行政側の職員の参加を頂いて、日頃の活動内容の報告や情報交換を行っています。

終わりになりますが、今後も母校同窓会の一員として、本会常任幹事職及び茂原支部監事職を、しっかりと務めて参りたいと考えております。

「2020東京五輪に向けての社会貢献」 茂原支部・幹事長 岡部 昌夫(昭和52年度卒)

お疲れ様です。茂原支部の岡部でございます。日頃より支部活動に對しまして多大なるご理解とお力添えを賜りまして、誠にありがとうございます。この紙面をお借り致しまして心より厚く御礼申し上げます。次第でございます。

さて標記の件、来年はあえて申し上げるまでもなく「Olympic year」です。そして、母校がある我が一宮町釣ヶ先海岸において、「サーフィン競技」が開催されます。個人的な話で恐縮ですが、先日「都市ボランティア」の募集があり、ダメもとで応募したところ、書類選考を通過、5月末の面接選考に臨みました。結果は6月末という事ですので、本原稿のメット時点ではどちらになったかわかりません。もし万が一にも、面接も通るような事になれば、11月の「研修会」を経て、2020年3月に「正式採用」、同年4月に現地での配置研修、同年6月にユニフォーム配付との予定ですので、「鬼が笑う」かも知れない話で、これまた重ねて恐縮ですが、紙面に余裕があるようでしたら、来年の「松濤(第44号)」に「続編」として「都市ボランティア、その後」と題して、近況をご報告というご紹介したいと思っております。

何れにしましても、折角の機会ですので(もう一人の地元の同窓生の先輩と共に)「都市ボランティア」に参加して、観戦されるお客様のために、地域地元の皆様の為に、広く社会に貢献したいと考えている今日この頃です。

支部報告とはかけ離れた内容となりましたが、時節柄こんな事を紹介してもよいのかなあと思ひ、つたない文章で誠に申し訳ないのですが、一筆書かせて頂いた次第です。

最後になりましたが、「自治」「責任」「創造」の校訓のもと、日々頑張っている母校生徒諸君のご活躍を、支部としても全力で支えて参る所存でございます。その為には、同窓生各位の強い絆と結束力が是非とも必要な事だと

感じております。皆様の一層のご理解と更なるお力添えをお願いして、結びと致します。頑張れ一商生!

地引網に参加者募集!

長生支部・幹事長 鵜沢 一男(昭和57年度卒)

拝啓、梅雨も終りに近づき、一宮海岸も7月15日に海開きを迎えます。同窓生の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、長生支部では毎年7月最後の日曜日頃に同窓生の親睦を目的に一宮海岸にて地引網と納涼会をセットで行っています。取れた魚を地引小屋で食べる味は格別です。また、取れた魚を持ち帰ることもできます。参加費は納涼会費込みで千円です。皆様の参加をお待ちしています。尚、詳細は学校にお尋ねください。

ところで、皆様は母校がある一宮町で来年オリンピックのサーフィン競技が行われることはご存知だと思います。7月26日から29日までの4日間です。大会を盛り上げるため母校の在校生が準備をしています。私たち卒業生も力になれないものかと考えます。そこで本年11月9日(土)が一般公開日の母校文化祭に出かけて後輩の労をねぎらおうではありませんか。何年ぶり・何十年ぶりの母校も良いものです。文化祭でお会いしましょう。最後に、母校の益々の発展をお祈り申し上げます。

夷隅支部だより

夷隅支部・支部長 高瀬 利之(昭和42年度卒)

平成三十年度夷隅支部総会を、昨年の十月二十日に大原藤与しで実施致しました。総会には、来賓として、古市同窓会長様、学校より、井上教頭先生・窪岡先生、白井茂原支部長・吉野長生支部長・吉田首都圏事務局長様、各支部役員の方々の出席を頂きまして盛大に開催することができました。

に有り難う御座いました。各支部での活動の様子ばかり、有意義な時間を過ごすことができました。

夷隅支部では、活動の一環として、部活動参観を実施し、生徒とのふれあいの場を持ちながら活動しております。今年度は、学校行事の一つであります一商祭に足を伸ばしてみました。「二商懸命・おもてなしの笑顔」のテーマで、わくわくした気持ちで門を潜ると、生徒達が笑顔で迎えてくれました。

全校生徒が生きて生きと活動し、クラス所属感・連帯感が見られ男女が協力している姿はとても印象的でした。生徒の皆さんとの会話も進み、有意義な時間を過ごさせて頂き感謝申し上げます。

母校に足を伸ばしてみれば、若かりし頃の自分に逢えて、心も体も元気になるのではないのでしょうか。今年度も母校に足を伸ばして活動していきたいと思っておりますので、一人でも多くの会員を募って、皆様の参加を頂きますようお願い致します。



平成30年度千葉県立一宮商業同窓会夷隅支部総会

令和元年度 夷隅支部総会の案内

【日 時】 令和元年10月19日(土)
午後6時より

【場 所】 割烹 藤与し
(国道128号線沿い)
Tel 0470-63-0616

【会 費】 5,000円

【問い合わせ先】
幹事・会計：土屋 元
☎090-1439-1334

お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。

■首都圏支部だより

首都圏支部・支部長 石川 省三 昭和37年度卒

平成三十年度の首都圏支部の総会は十月十三日に開催されました。久しぶりのバスを利用して「小さな旅行形式」で三十六名の参加を頂いたの総会となりました。

今年には船橋を中心としたビール工場見学、食事会にバラの観賞を計画してみました。

最初の訪問地はサッポロビール船橋工場を目指し九時三十分には船橋駅を出発。この間にバスの車内では前年度の支部同窓会活動報告、会計報告、役員人事など審議を進め総会も無事終了することが出来ました。

タイミンク良くサッポロビール船橋工場に到着。

最初に工場の案内と説明を頂き関東一円に詳しいビールを届けている事が理解出来ました。

工場の中はきれいに造られさすがに大手ビールメーカーと感心致した次第です。

生ビールが出来るまでを見学した後、楽しみにしていたビールの試飲室に移り一人ジョッキ三杯まで飲む事が出来、さすがに絞らたての生ビールはおいしく、大方の人が飲みほしていたと思います。

酔が多少

残ってはいましたが本日のメインである昼食処、レストラン「ヒロ」へと向かいま

した。マスタールが一宮商卒の縁で今回洋食コースと致しました。

さすがに銀座で修業を積んだ経験から



美味しく味わいのあるコースです。同時にワインも多く取り揃えて頂き皆さんが喜んで飲んでもらったと思います。

楽しいランチを過ごした所で同窓会会長の古市義策様より同窓会動向、母校学校長代理窪岡慎一先生より学校の現況、茂原支部より山田八郎様、長生支部から古山義久様より講話を頂きました。

まだ酔が残っている感じの中京成バラ園に向かい秋口のバラを観賞して頂きました。

平成三十年は京葉地区一帯の塩害でバラが被害を受け、残念ながら最高のバラを見る事は出来ませんでした。皆さんに色々の花の美しさを堪能して頂いたと思います。

これほどのバラが見られるのは関東一円でもここ京成バラ園だと聞いております。是非この機会を生かしてバラの育成をして頂きたいと思ひます。

久しぶりのバスを利用して総会を兼ねた小旅行形式のイベントもフリーで会話がはずみお互いの情報交換にも役立つと思われま

す。帰りも予定通り船橋駅に着き楽しく総会も終える事が出来ました。遠くから参加頂いた方、毎回参加して頂いた方々皆様に感謝いたしますと共に次回も首都圏支部総会にご参加をお待ち致しております。

首都圏支部総会開催のご案内

- 【日 時】 令和元年10月12日 (土)
午前9:30集合 京王新宿駅改札口
午前10:00出発 午後5時解散予定
- 【場 所】 高尾山散策、薬王院有喜寺 (精進料理)、
高尾山ケーブル列車
- 【会 費】 6,000円
- 【問い合わせ先】
幹事: 吉田理和 ☎090-4366-1236

今回は、高尾山の散策コースをご用意しました。歩くのが大変だとも思いますが、ケーブルで山の8回目まで登ります。また、精進料理を楽しんでいただきながら総会を進めますのでお気軽に御参加ください。

同期会だより

3年ごとの同期会

吉野 昇 (昭和43年度卒)

平成30年8月19日、猛暑の中、一宮町内のホテルで昭和43年度卒業生同窓会に幹事として参加いたしました。

第21期同窓会は5年毎に開催していましたが、歳を重ねていく内に誰ともなく「3年以内には会わない」と死んじやうどうの言葉で前回のいすみ地区の幹事より引き継ぎ、開催しました。参加者は70名と少ない人数でしたが、

楽しく有意義な時間を過ごしました。

恩師はお二人の参加を頂き、当時数学担任の中村雅紀先生と化学担当の町田(金杉)義昭先生でした。

開会前に記念撮影をしている際に、立派な体型や髭等をみて、先生から「私より立派に成長しているなあ」と感心しているのが滑稽でした。

予定された時間は瞬く間に経過し、次の幹事を茂原市在住のメンバーとバトンタッチして、3年後にまた元氣にお会いできることを誓いましてお開きとなりました。

平成25年度卒業生同期会のお知らせ

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

この度平成25年度卒業生同期会(学年主任 佐久間和彦先生、A高橋正幸先生、B高田由美子先生、C内山直樹先生、D荒木真彦先生)を下記のとおり開催することになりました。

お忙しいとは存じますが、たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。

当日は恩師の先生方にも多数ご参加いただく予定です。

記

日 時: 令和2年1月5日(日) 17時より

場 所: ホテル一宮シーサイドオオツカ

会 費: 8,500円

尚、準備の都合上、お手数ですが、10月31日までに事務局までご連絡下さい。

幹 事 代 表 御園生千尋
事務局連絡先 〒299-5241 千葉県勝浦市松部1910
吉野一平 (D組)
✉ katsuura60@yahoo.co.jp ☎ 080-6515-9573

同期会を開催しましたら、事務局にご連絡下さい。



第7回 同窓会ゴルフ大会について

今年も同窓会総会前日に開催された恒例となりました。大会も7回目となりました。これ以上ない晴天に恵まれ、参加者38名の満足度の高いプレーだったと思います。今年も44名の選手が3組12人の参加で、大会を盛り上げて頂きました。

その中で栄えある優勝者は元、野球部のエースだった、数見恒雄選手（昭和42年3月卒）が初めての栄冠に輝きました。

主な成績は次のとおりでした。（ネット）

優勝	数見 恒雄	72、0	ストローク
準優勝	海老根正明	72、2	ストローク
第3位	木村 豊	72、6	ストローク
B・G	小川 修	82	ストローク

その他、沢山の賞品、景品を獲得された選手の皆様、参加されました選手のご協力に感謝申し上げます。そして、同窓会の総会は、ゴルフ大会の翌日に母校会議室で開催いたしますので、こちらも併せましてよろしく願いたします。

ゴルフ大会 令和2年6月19日（金）
同窓会総会 令和2年6月20日（土）

幹事 吉野 昇（昭和44年3月卒）
田邊 武司（昭和56年3月卒）



定期総会のご案内

一宮商業高等学校同窓会会長 白井 和

下記のとおり定期総会を開催します。

記

日時 2020年6月20日（土） 15時より

場所 母校会議室

議題 2019年度事業及び決算報告
2020年度事業及び予算について

※ 総会終了後、懇親会を開催します。（会費5,000円）
当日、校舎を背景に集合写真を撮影します。

令和元年度の役員について次のとおり提案いたします。（任期 令和元年度～令和3年度）

同窓会役員（監査以上）

役 職	氏 名	備 考	卒業年	役 職	氏 名	備 考	卒業年
顧問	渡辺 英光	元会長	S30.3	会 長	白井 和	茂原支部長	S35.3
顧問	金子 健一	元衆議院議員	S51.3	副 会 長	山口 精一	留任	S39.3
顧問	古市 義策	前会長	S38.3	副 会 長	石川 正	留任	S41.3
顧問	渡部 清	校長		副 会 長	海老根正明	前監査	S52.3
相談役	長谷川 正	元東京支部長	S31.3	副 会 長	吉野 昇	長生支部長	S44.3
相談役	斉藤 恒弘	元副会長	S37.3	副 会 長	石川 省三	首都圏支部長	S37.3
相談役	三枝恵美子	元副会長	S37.3	副 会 長	高瀬 利之	夷隅支部長	S42.3
相談役	米倉 重作	元千葉支部長	S32.3	会 計	山田 八郎	留任	S49.3
相談役	君塚 泰三	元夷隅支部長	S38.3	会 計	佐久間 実	前常任幹事	S50.3
相談役	鶴岡 良二	元副会長	S42.3	監 査	土屋 芳廣	留任	S46.3
相談役	田中 薫	元校長	S51.3	監 査	岡部 昌夫	前会計	S52.3

平成30年度

一宮商業高等学校同窓会 収支決算書

平成30年度一宮商業高等学校同窓会収支決算について次の通り報告します。

積立金(定期預金報告)

1. 平成29年度末積立総額	10,500,000 円
2. 平成30年度積立額	300,000 円
3. 積立金取り崩し	0 円
4. 積立金合計額	10,800,000 円

定期預金内訳

①千葉銀行一宮支店	800,000 円
②房総信用組合一宮支店	10,000,000 円

◎ 収入の部

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

科 目	予算額	補正額	計	収入済額	増 減	附 記
1. 入 会 金	1,106,000	0	1,106,000	1,098,136	▲ 7,864	平成30年度卒業生157名×7,000円 振込手数料864円
2. 維持会費	898,000	0	898,000	860,000	▲ 38,000	平成30年度 430名
3. 賛 助 金	225,000	0	225,000	287,644	62,644	平成30年度 86名
4. 預 金 利息	3,000	0	3,000	899	▲ 2,101	普通・定期預金利息
5. 雑 収 入	1,000	0	1,000	0	▲ 1,000	
6. 繰 越 金	1,421,722	0	1,421,722	1,421,722	0	前年度より繰越金
計	3,654,722	0	3,654,722	3,668,401	13,679	

◎ 支出の部

科 目	予算額	流用・増資額	計	支出済額	増 減	附 記
1. 総 会 費	100,000	0	100,000	31,225	68,775	総会飲物代
2. 会 議 費	150,000	0	150,000	60,822	89,178	会計監査費、役員会飲物代
3. 接 待 費	100,000	0	100,000	10,000	90,000	母校職員歓送迎会寸志
4. 旅 費	20,000	0	20,000	0	20,000	
5. 通 信 費	50,000	20,036	70,036	70,036	0	総会案内（切手、葉書代）、振込手数料
6. 業務委託費	800,000	0	800,000	727,492	72,508	松濤発行代行業務委託費
7. 消耗品費	3,000	0	3,000	0	3,000	
8. 負 担 金	58,000	0	58,000	58,000	0	母校職員転退職者の餞別（16名分）
9. 補 助 金	400,000	0	400,000	273,700	126,300	母校生徒会援助、関東大会・全国大会出場激励金、横断幕
10. 事 業 費	300,000	0	300,000	230,336	69,664	卒業証書ホルダー、同窓会ホームページ継続費
11. 事 務 費	50,000	0	50,000	0	50,000	封筒作成費
12. 積 立 金	300,000	0	300,000	300,000	0	定期預金積立
13. 支 部 費	240,000	0	240,000	240,000	0	首都圏支部、茂原支部、夷隅支部、長生支部 1団体あたり ￥60,000
14. 雑 費	50,000	0	50,000	32,940	17,060	慶弔費
15. 予 備 費	1,033,722	▲ 20,036	1,013,686	0	1,013,686	
16. 繰 越 金	0	0	0	1,633,850	▲ 1,633,850	
計	3,654,722	0	3,654,722	3,668,401	▲ 13,679	

監査報告 平成30年度同窓会会計を監査した結果、帳簿及び証憑類ともに正確に処理され適正であることを認めます。

令和元年5月9日

一宮商業高等学校同窓会長 様

一宮商業高等学校同窓会

監 査 土屋 芳廣

㊞

監 査 海老根正明

㊞

令和元年度一宮商業高等学校同窓会事業計画

令和元年度一宮商業高等学校同窓会事業について次のとおり提案いたします。
令和元年6月15日

月	日	曜	事業内容
4	9	火	入学式 入学許可162名（商業科・情報処理科）
5	9	木	平成30年度会計監査
	18	土	第1回編集委員会 於 母校応接室
	18	土	常任幹事会・幹事会 於 母校会議室
	28	火	新会員に対して、総会案内はがき発送
6	8	土	長生支部総会（一宮館）
	14	金	同窓会ゴルフコンペ 於:一宮カントリークラブ
	15	土	定期総会 母校会議室
8	4	日	長生支部納涼会 （一宮海岸）
10	6	日	首都圏支部総会
	19	土	夷隅支部総会
	25	金	茂原支部総会 （大和屋旅館）
	6	金	同窓会入会式
3	7	土	卒業証書授与式（商業科 第72回 情報処理科 第47回）
	28	土	令和元年度決算書・事業報告書作成 令和2年度予算案・事業計画案作成

他 IT委員会 編集委員会

令和元年度 同窓会賛助金一覧

金 額	氏 名（順不同）
50,000円	牧野美和子
20,000円	寺嶋 和平
18,000円	森 静枝
10,000円	大澤 温生 土屋 貴治 古市 義策 花澤 道子 正林 宏平
8,000円	土屋 征雄 中台 晴美 栄喜 良子
5,000円	永野 一 室井 力
3,000円	大多和孝則 式田 勝夫 村上 律子 小安 和夫 米倉 重作 齋藤 信夫 今井 春夫 石川 静江 齋藤蒼生子 荻 喜美子 山根 和弘 鶴岡 重忠 石川 省三 藤原 亘弘 高原 滋之 正木 清 柴田 勲 野村 正 山口 精一 石川 正 吉田かず子 田中 登 吉野 昇 板倉 滝口 諭 土屋 芳廣 岡部 昌夫 古山 義久 吉田 理和 荘司 秀之
2,000円	関嶋 芳枝 田中 輝昭 矢部 禮三 島田 利春
1,000円	加藤 キミ 岩佐 俊雄 宇内すみ子 野村 進 諸岡 勝 山田 八郎 向後 孝憲 高原 由紀 羽生 絵梨 山田 一寿 山田 祐大 丸 ゆう子

◆◆◆◆
I T委員会報告
I T委員長
久我 昌文（昭和58年度卒業）
◆◆◆◆

近年、コミュニケーションの仕方が変わってきている。友人、家族、そして仕事でもそうだと感じている。これにはスマートフォンを筆頭にした通信機能を持った機器とLINEやFacebookなどのSNSアプリケーションの急速な普及によるところが大きいでしょう。

昔は、直接会っての会話が中心であった。まずはアポイントメントをとり、直接に会話をすることによって相手の理解を得ることが必要でした。

1990年代のWindows95の登場とともにインターネットというコミュニケーション環境が一般に知られるようになりました。世界中の誰とでも直接会話ができて、というまさに夢のような環境が謳われたのでした。

それとほぼ同時期にPHS／携帯電話という個人向けの通信機器が現れて、わざわざ親や代表者を通さなくても、会話したい人に直接会話出来るようになりました。携帯電話でインターネットが利用できるようになるまで、それは時間ばかりでありませんでした。個人個人が世界中と情報をやり取りできる環境が現れました。

そして現在、SNSとチャット中心の会話に変わってきています。SNSによって、情報は双方向になり、情報伝達のスピードと量が爆発的に増大しました。

この現象はどういうことなのでしょう？

もはや情報そのものが重要ではなくなり、多種多様な情報から、情報は減らし、どうやって共感してもらうかが大事になったということではないでしょうか。企業の広告・情報発信も技術や商品力を謳うものから、どれだけ利用者の価値観に寄り添うものなのかに変わってきているように思います。

母校では全国に先駆けて1971年から情報処理科を設立して、情報化社会に対応しリードできる人材を育成し輩出してきました。これは専門科のみならず商業科でも情報処理課程が必修となっていて、実社会における情報技術の活用とこれを処理する能力を重要視されてきました。年々発達してきているコンピュータ技術、通信技術とこれらがもたらす正確性・反復性・スピードと蓄積を使いこなしていくために培われてきた伝統といえるでしょう。

現代はコミュニケーションの仕方が変わり、SNSとチャット中心のコミュニケーションになったことにより、どうやって共感してもらうかの時代になってきました。同窓会とはまさしく母校の伝統の継承と価値観の共有が目的の一つであり、これからはホームページでの情報発信のみならず、新たなコミュニケーションを行えるよう活動していきます。

電算部は、第39回全商プログラミングコンテストで2年連続、全国1位となる最優秀賞を受賞しました。作品制作にあたり、生徒たちはチームで協力し、知恵を出し合いながら様々な壁を越えて作品を完成させました。作品概要をご紹介します。

電算部顧問 橋本 翔平

部活動

電算部

プログラミングコンテストで活躍

皆様に良いご報告ができるよう取り組みます。

最後に、日頃より簿記部を支えてくださる学校関係者、保護者等の皆様に心より感謝申し上げます。



平成30年度 第三十四回 全国高等学校簿記コンクール

平成30年度一宮商業高等学校同窓会事業報告

平成30年度一宮商業高等学校同窓会事業について次のとおり報告いたします。
令和元年6月15日

月	日	曜	事業内容
4	8	日	入学式 入学許可163名（商業科・情報処理科）
	13	金	母校職員歓送迎会（会長出席）
	28	土	編集委員会
5	10	木	平成29年度会計監査
	19	土	常任幹事会・幹事会（母校会議室）
	25	金	新会員に対して、総会案内はがき発送
6	2	土	長生支部総会（一宮館）
	15	金	同窓会ゴルフコンペ 於:一宮カントリークラブ
	16	土	定期総会 母校会議室
7	15	日	簿記部 全国高等学校簿記コンクール出場（個人の部1名）
	22	日	電算部 全国高等学校情報処理競技大会（個人の部1名）
	1	水	珠算部 全国高等学校珠算・電卓競技大会出場（個人の部2名）
8	4	土	ワープロ部 全国高等学校ワープロ競技大会出場（個人の部1名）
	5	日	長生支部 納涼会 一宮海岸
	25	土	電算部 全国高等学校プログラミングコンテスト 最優秀賞 優秀賞
9	22	土	関東地区高等学校生徒商業研究発表大会
10	13	土	首都圏支部総会 京成バラ園、レストランヒロ
	20	土	夷隅支部総会 大原 藤与し
	26	金	茂原支部総会 大和屋旅館
11	10	土	夷隅支部 文化祭訪問と在校生への差し入れ
2	16	土	役員会
3	7	木	同窓会入会式
	8	金	卒業証書授与式（商業科 第71回 116名 情報処理科 第46回 41名）
	23	土	平成30年度決算書・事業報告書作成 平成31年度予算案・事業計画案作成

部活動

簿記部

全国大会報告

顧問 勝 和大

本校簿記部は、簿記の高度資格取得・簿記コンクール全国大会出場を目標に、日々簿記の学習に取り組んでいます。平成三十年度第三十四回全国高等学校簿記コンクール千葉県予選会において、個人の部 佳良賞を大兼梨里が受賞し、全国大会への出場が決定しました。一ヶ月後に行われる全国大会に向け、千葉県代表としての自覚と責任を持ち、精一杯努力をして本番に臨みました。全国大会での入賞はできませんでしたが、このような貴重な経験は、本人にとって大きな成長の機会となりました。

簿記部の活動は、日常的に二時間以上簿記の勉強をしており、生徒にとって決して楽しい活動とはいえません。しかし、部員達は、将来のため・自己のスキルアップのためと前向きな気持ちで精一杯取り組みます。頑張る生徒の努力が将来報われるような簿記部を目指し、今後もより一層活動を充実させ、応援してください。

皆様に良いご報告ができるよう取り組みます。

最後に、日頃より簿記部を支えてくださる学校関係者、保護者等の皆様に心より感謝申し上げます。

全商プロコン最優秀作品「Baton」は、タブレット端末のカメラで映している映像を他の複数台の端末に送信して、リアルタイムに映すことができるアプリです。パソコン室では、書画カメラを使って授業が行われますが、普通教室にはそういった機器がありません。生徒が持つスマートフォンに映像を送信することができれば、授業がより良くなるという発想から開発がスタートしました。また、修学旅行のしおりをスマートフォンに登録して持ち運べるアプリ「e-guide」が優秀賞を受賞しました。そして、アプリ甲子園では、キャラクターに与えた言葉を、形態素解析を利用して分解し、辞書データをもとに感情を判断することでキャラクターが変化していくアプリ「TIERN」が1,000点以上の応募作品の中から3位に選ばれました。プロの技術者の方々が審査する大会でインターネットでも生中継で大会の様子が配信されました。



アプリ甲子園でプレゼンテーションする様子

プログラミンゲコンテストの活動を通して、生徒は、ITの知識・技術の習得に加え、課題解決力や発想力、チームで取り組むためのコミュニケーション能力などを磨き、大きく成長しました。全国1位の賞を受賞したという高い目標を持ち、意欲的に活動するからこそ成長することができのだと思います。生徒が部活動に取り組む意義は、活動を通して様々な力を育み成長することにあります。今後も一宮商業高等学校の特徴ある部活動の一つとして意欲的・積極的に活動し、生徒の成長につながる部活動であり続けたいと思います。

部活動

フープロ部

全国大会報告

顧問 江澤 武人

本校フープロ部は、第27回千葉県フープロ競技大会に参加し、団体部門で2位、個人の部で石井有香が3位になりました。千葉県の全国大会の出場枠は、団体1校、団体の出場校以外で1名です。団体では出場できませんでしたが、個人の部で、

第65回全国高等学校フープロ競技大会（平成30年8月4日、高千穂大学会場）に石井有香（勝浦中）が出場することができました。



全国大会では、千葉県大会と違い規模が大きく、雰囲気の違いに圧倒されてしまい、結果を残すことができませんでした。この競技はとても繊細で、メンタル面がとても大切です。心身ともに、ベストな状態で本番を迎える難しさを、改めて感じる大会となりました。今回このような機会を得ることができたのも同窓会、後援会の方をはじめ、先生方、保護者の方々の支えがあったからだと思います。心より感謝申し上げます。

部活動

珠算部

全国大会報告

顧問 太田 真純

平成三十年六月三日、千葉県立銚子商業高等学校において、第五十五回千葉県高等学校珠算・電卓競技大会兼第六十五回全国高等学校珠算・電卓競技大会千葉県予選に出場しました。本校は、電卓部門に出場し、団体総合競技・準優勝、個人総合競技では三年・藤平望叶が準優勝。同じく三年・古山恵奈が三位となり、二名が千葉県の代表として、全国大会に出場しました。



全国大会は、八月一日に東京武道館で行われました。予選の時よりも成績は伸びたものの、全国のレベルは非常に高く、実力の差を見せつけられました。生徒二人はもちろん、顧問にとっても、貴重な体験をした一日となりました。今回、何年か振りに大会に出場できたのは、生徒が二年次までに全商の珠算・電卓検定試験の一級を取得していたこと。珠算の専門の末永敬一先生が四月に本校に赴任され、指導をして下さったこと

平成31年3月の職員の異動

平成30年度末の人事異動で、3名の先生方がご退職、11名の先生方がご転任されました。また、19名の先生方をお迎えしましたので、ここに紹介します。（順不同）

【退職】

氏名	氏名	氏名
1 田中 善宏	保健 体育	
2 馮 玉伶	芸術・美術	
3 森田 正和	技能 員	

【転入】

氏名	氏名	氏名	転任先
1 渡司 暢哉	数 学	千葉県立茂原高校	
2 吉田 弘	理 科	千葉県立長狭高等学校	
3 栗飯原功雄	保健 体育	千葉県立大多喜高等学校	
4 芝崎奈保子	家庭 科	千葉県立安房拓心高等学校	
5 高橋 正幸	商 業	千葉県立千葉商業高等学校(定)	
6 藤井 裕久	商 業	千葉県立東金商業高等学校	
7 川上 有正	英語 科	千葉県立佐原高等学校	
8 齋藤 優里	芸術・音楽	山武市立蓮沼中学校	
9 佐久間理江	芸術・書道	千葉県立佐原高等学校	
10 高仲 重和	事 務	千葉県立千葉工業高校	
11 杉本真理子	スクールカウンセラー		

【転入】

氏名	氏名	氏名	前任校
1 元吉 一仁	社 会	千葉県立九十九里高等学校	
2 山本 兼也	数 学	千葉県立松尾高等学校	
3 松田 俊晴	数 学	千葉県立東金高等学校	
4 露崎 智	理 科	千葉県立大原高等学校	
5 佐久間 健	保健 体育	千葉県立成東高等学校	
6 高瀬 利武	保健 体育	習志野市立習志野高等学校	
7 田原 萌絵	英 語	新採用	
8 正林 百合江	家庭 科	千葉県立東金高等学校	
9 浅野 正史	商 業	千葉県立千葉商業松尾高等学校	
10 石井 正	商 業	千葉県立銚子商業高等学校	
11 寺家 光希	商 業	新採用	
12 高貴 志保	商 業		
13 長島 茂	芸術・音楽		
14 金澤 弘光	芸術・美術		
15 佐木智将	芸術・書道		
16 小島 瑞月	事 務	長柄町立長柄中学校	
17 岩瀬 洋	事 務		
18 岡澤見和子	事 務		
19 東條木綿子	スクールカウンセラー		

平成30年度 部活動 全国大会・関東大会出場

全国大会		
第39回全商プログラミングコンテスト 最優秀賞（全国1位） 39年連続入賞	電 算 部	団体出場
第38回全国高等学校 IT・簿記選手権大会 6位	電 算 部	団体出場
第30回全国情報処理競技大会	電 算 部	内木 悠斗
第34回全国高等学校簿記コンクール大会	簿 記 部	大兼 梨里
第65回全国高等学校フープロ競技大会	フープロ部	石井 有香
第65回全国高等学校珠算・電卓競技大会	珠 算 部	藤平 望叶
	珠 算 部	古山 恵奈
関東大会		
第12回関東地区高等学校 生徒商業研究発表大会 優良賞	ビジネス研究班	

と。この二つの要因が大きかったと思います。これからは全国大会出場は、もちろんのこと、さらには、全国でも上位に入れるよう、生徒を指導していきたいと思っています。日頃から、同窓会の皆様方には、生徒を励ましていただきまして、感謝しております。今後とも、応援の程、よろしくお願いします。

文部科学省より研究指定を受けているSPH事業も今年度二年目を迎えるようとしています。昨年度は、一年目ということもあり、高校生版DMOについての理解とともに、地域観光ビジネスの基礎的知識や、外国語を通じたコミュニケーション力、情報活用能力など、ビジネスに関する専門的知識・技術を習得することにも、地域観光の実状を理解することができるよう育成していくことと五つの分野で、講演会等様々な活動が行われました。その主な活動としては、「観光・地域ビジネス」分野では、実際に十二社祭り当日に参加者がアンケート調査やインタビューの実施、「国際交流」分野では、ガイダンスや講演会、外部講師による特別授業等、英語でのコミュニケーションの必要性を理解させる学習の実施、「マネジメント」分野では、観光学やDMOについての講演会の実施やサーフィン大会でのボランティア活動、「観光コンテンツ」分野では、観光アプリについての講演会や授業内での観光アプリアイデアコンテストの実施、「観光マーケティング」分野では、一宮町長による町の現状と課題についての講演会や県内企業によるマーケティング戦略等の講演会の実施などです。このように各分野ごとに活動し、基礎的な知識を育成する研究を行ってきました。今年度は「地域観光」という学校設定科目も新しく始まり、その授業を中心に各分野で研究を深化させながら、観光ビジネスに必要な知識・技術を習得させるとともに、「高校生版DMO」としての活動による、実践的な観光人材の育成に努めていきたいと思っています。そして、来年度、最終年としての研究成果が出せるよう、二年目として様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

SPH中間報告

商業科主任 末永 敬一

平成30年度 進路状況

進路指導部より

進路指導主事 江澤 武人



本校の進路状況は就職が66人、進学が90人、その他1人、割合は就職が42%、進学が57%、その他1%でした。全体の割合はここ数年大きな変化はありません。また、職種別で見ますと約半数の生徒が事務的な仕事に就きました。今年度の希望調査でも半数以上が事務職を希望しています。公務員については合格者が4名(昨年は1名)と厳しい状況でした。今年度は、昨年度同様に月1回の公務員講座と毎月、自宅学習用の教材を配布し、合格率が上がるような取り組みをしています。

卒業生の進路実績については毎年ほぼ同じようなことを書いておりますが、他校と比べても就職に関してはかなり恵まれています。多くの求人をしていただき就職を決定しています。これも先輩のみなさま方が各方面で、活躍のおかげだと思っております。また、生徒もその期待に応えるようにしっかりと働いてくれるものと期待しています。

大学進学については、指定校推薦とAO入試による進学が大半です。学部別ではビジネスや情報系の学部を中心に福祉系、教育系へも進学しています。短大進学者は保育関係が多くなっています。専門学校については様々な分野にわたって進学しています。

本校の生徒は伝統に支えられてしっかりと生活態度で学校生活を送っています。欠席や遅刻が少ないうえに資格取得や部活動によく取り組んでいることが就職や進学に影響しているようです。

進路のことでご不明なことがありましたら進路指導部まで連絡をいただきたいと思います。

【主な就職先】

JFEスチール、ちばぎん証券、伊勢化学工業、塩田記念病院、塩田病院、亀田総合病院、ナガホリアトリエドモバラ、ハマイ、京葉銀行、関東天然瓦斯開発、山崎製パン、銚子信用金庫、長生農業協同組合、日宝化学、日本合成化工、日本天然ガス、日本郵便、房総信用組合、房総カントリークラブ、JFEプラントエンジニア、JFE物流、TOTOHAIPIRING、ジャパンフーズ、白石管工事、サンアイク、合同資源、藤田製作所、茨城グリーン開発、大塚商会、朋和産業、勝浦ホテル三日月等

【主な進学先】

敬愛大学、淑徳大学、千葉商科大学、亜細亜大学、東京情報大学、城西国際大学、國學院大学、駒澤大学、国士舘大学、日本大学、植草大学、江戸川大学、開智国際大学、大東文化大学、了徳寺大学、和洋女子大学、東京福祉大学、明海大学、千葉明德短期大学、千葉経済大学短期大学部、昭和学院短期大学、千葉敬愛短期大学等
大原簿記公務員専門学校、亀田医療技術専門学校、国際理工情報デザイン専門学校、千葉こども専門学校、千葉医療秘書専門学校、千葉市青葉看護専門学校、安房医療福祉専門学校、千葉医療福祉専門学校、東京IT会計法律専門学校、東洋理容美容専門学校、日本外国語専門学校、北原歯科衛生士専門学校等

令和元年度

一宮商業高校野球部

公式戦結果

令和元年度 春季高等学校野球大会
ブロック予選

1回戦 vs 茂原 11 | 0
決定戦 vs 安房拓心 9 | 0

2回戦 vs 東京学館 1 | 5
令和元年度 第101回 全国高等学校野球大会 千葉大会

1回戦 vs 袖ヶ浦市営球場 2 | 7
7月11日(木) 於 袖ヶ浦市営球場

今年度は、無事に全校野球応援を実施することが出来ました。対戦校は袖ヶ浦高校、球場は袖ヶ浦市営球場でしたので、まさに敵陣に乗り込んでの対戦となりました。結果は、残念ながら敗退となりましたが、得点が入った際に流れる「南総たかく」が演奏されると、選手達も応援団も対戦校に負けない盛り上がりを見せました。また、生徒・職員以外にも多くの卒業生や関係者の皆様にお忙しい中、球場に足を運んでいただきました。誠にありがとうございました。新チームもこれまでのチーム同様、応援の程よろしく願っています。

令和元年度 部員数

	3年	2年	1年	合計
選手	21名	10名	14名	45名
マネージャー(女子)	0名	2名	4名	6名
合計	21名	12名	18名	51名

野球部練習予定は
学校HPをご覧ください。



剣道部OB会報告



2019年1月24日(木) 剣道部OB新年会を、一宮駅前松濤軒にて(11名)実施致しました。当日は、先輩、後輩の垣根を越えて楽しい会話が、はずみしました。

来年は、1月23日(木)実施予定です。参加希望のある方は、滝口まで、連絡ください。

滝口 諭 090-2561-9950 (昭和44年度卒)

編集後記

来年の松濤を発行できる頃は、いよいよオリンピックの開催中であると思います。松岡修造の「夏の青空に沸き上がる人道雲 仕事は熱く、人生は楽しく!!」という言葉があります。毎年のように暑さが増えています。暑いと仕事も効率が悪くなりますが、熱い気持ちで今後も取り組み発行をしていきたいと思っています。時代は変化するといいますが、今年度は、「平成」から「令和」「へと元号」の変更がありました。歴史に残る出来事が起きた年ですが、同窓会広報の「松濤」はこれまでどおり出来るだけ多くの方々にお届けできるよう努力しますのでご協力の程よろしく願っています。

事務局